

平成24年度事業報告

平成20年のリーマンショック後わずかながら持ち直し続けてきた我が国経済は、東日本大震災による一時的な落ち込みを受けながらも微増を維持してきました。平成24年後半にはそれまでの円高の進行や世界景気の減速等を背景に輸出、生産等が落ち込み、景気は弱い動きとなり、厳しい状況となりました。しかしながら年末の政権交代によるアベノミクスへの期待の景況感により、平成25年に入ると明るい兆しが見え始め、内外の自動車販売の持ち直しや家計、企業マインドの改善等を背景に景気は持ち直しが見られ始めました。しかし、5月末からは株価や円相場の乱高下が続き経済政策の実質を求められる状況に至っています。

こうした厳しい経済情勢の中、日本の中小企業は先行き不透明でありながら様々な手段を講じ経営を維持しているところであります。中小企業の衰退は我が国の経済発展を支えてきた技術立国日本の技術構造の崩壊を意味します。技術開発力の低下や優れた製品生産の停止を招き、経済を支えてきた日本の国際競争力を根底から揺るがすものであります。

横浜市工業会連合会としましては、日本経済の将来をも担う製造業を中心とした中小企業の団体として、厳しい経済情勢にあるからこそ、行政と一緒にになって中小企業の日常の経営に寄り添い、しっかりと中小企業を支えていかなければならないと考えています。

平成24年度も地域工業会会員企業の声を反映した活動ができるよう、各委員会で議論し検討した結果に基づき事業を進めてまいりました。特に、厳しい経営環境を背景に企業が孤立する状況下にあって、会員企業との意思疎通を重要な視点におき、きめ細かな情報伝達の構築、日々の交流のもととなるセミナー開催や他都市団体との交流の復活、電力料金節減のための特定事業者との連携に加え、中小企業支援策等の政策立案を横浜市と協議しました。

また、これらと合わせ既存事業につきましても着実に進め、地域工業会や関係機関団体との緊密な連携を図り、工業団体としての力を結集し、中小企業の振興による地域経済の活性化、雇用の確保と安定化に努め、地域社会の健全な発展に寄与出来るよう努めてまいりました。

なお、公益法人制度改革に伴い、公益社団法人の認可を受けるべく努めましたが、認定を得られる見込みがないことから、一般社団法人への移行に取り組み、平成24年度末において一般社団法人としての認可を受けました。

I ものづくり活性化事業

1 基盤整備事業（産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施）

（1）地域工業会との連携強化に向けた市工連委員会の活動

市工連としての意義が求められている中で、多くの地域工業会代表が参加し、意見交換やその結果が反映されるよう、委員会の活性化を通して課題解決に向けた活動に努めました。

ア 5委員会の開催延べ回数：16回

（委員会別開催実績等はVの総会、理事会、委員会等のとおり）

（2）横浜市と本会との施策検討会の運営

実効性のある横浜市の中小企業振興策の立案・実施に向け、行政とともに考える場を設置し、具体的、かつ実効性の高い施策検討協議を行いました。

(3)産業振興に関する提言、調査、研究

行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、上記（2）の施策検討会での協議を活かして、ものづくりを中心とした振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要望を集約し、林横浜市長に「平成25年度予算に対する要望」として提出しました。

ア 提出日 平成24年10月22日（月）

イ 場 所 市役所応接室

ウ 出席者 林横浜市長、光田経済局長ほか

佐藤市工連会長、各地域工業会会长ほか

エ 要望書概要

（ア）重点要望事項 2件

- ・市街地域に立地する中小製造業の支援強化について
- ・横浜市の産業振興策のビジョン策定や事業評価に向けた連携

（イ）局別要望事項 23件

(4)市工連のあり方検討(活性化委員会)の運営

24年度、時限の委員会として市工連のあり方検討委員会を開催いたしました。

ア 活性化委員会：6回

(5)他都市工業団体等との連携

ア (社)みやぎ工業会及び北杜市企業連絡会との意見交換会 3回

2 ものづくりネットワーク形成促進事業

新事業展開や新製品開発、受発注機会の拡大を支援するため、情報交換会・商談会を開催しました。また、常時会員企業からの受発注等に関する相談に応えるとともに、情報提供を行うなど、市内製造業のネットワークづくりを促進しました。

(1)受発注相談（横浜市委託事業）

（電話・FAX・Eメール等による受発注相談）

ア 相談件数：56件

イ 成約成立：8件、不成立：43件、次年度へ継続：5

(2)商談会等の開催

ア 受・発注商談会（川崎開催）

日 時 平成24年9月5日（火）9：00～17：30

会 場 川崎市産業振興会館 1階ホール

主 催 （公財）神奈川産業振興センター、川崎市、

（公財）川崎市産業振興財団、川崎商工会議所、川崎信用金庫、

市工連、横浜市

参 加 291社（発注45社・受注246社）・商談件数 817件

内 容 当日の混乱を回避するため、発注企業及び受注企業の「事前マッチング方式」により運営しました。

イ 受・発注商談会(横浜開催)

日 時 平成25年2月6日(水) 10:30~17:30

会 場 パシフィコ横浜2F アネックスホール

主 催 (公財)神奈川産業振興センター、横浜市、市工連、川崎市、

(公財)川崎市産業振興財団、横浜信用金庫

参 加 349社(発注72社・受注277社)・商談件数 1,277件

内 容 事前マッチング方式をとり、人気発注企業ブースを一部分割し、受注企業の満足度向上を図りました。

- ・営業個別指導(商談の指導、アドバイス)の実施
- ・主催機関に横浜信用金庫が新たに加わりました。

(3)横浜ネットワークプラス(受発注情報システム)の運営

横浜ネットワークプラス(受注・発注マッチングサイト)をPRするとともに、会員数の拡大やサイト掲載内容の更新等を行いました。

ア 参加企業加入促進のためのPR活動と会員数拡大

「横浜ネットワークプラス」会員数のアップ: 17社新規加入(計401社)

イ 発注案件の登録・公開と受注企業の検索紹介

受けた案件を横浜ネットワークプラスに登録・掲載・更新するとともに、発注案件に対し受注企業を検索し紹介を行いました。

(4)新製品開発の検討

通信販売事業者との連携により、中小企業の技術連携による新製品づくり、新事業分野の開拓について検討を進めました。

3 テクニカルショウヨコハマ2013

「未来につながる新たな技術」を主要テーマに、県内に立地する事業所等の技術・製品を展示して、技術力の向上とビジネスチャンスの創出を促進するため、(公財)神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により開催しました。

(1)開催概要

ア 開催期間 平成25年2月6日(水)~2月8日(金) 3日間

イ 会 場 パシフィコ横浜展示ホールC・D

ウ 出 展 数 498社・団体

エ 小 間 数 433小間

オ 入場者数 29,118人

(2)横浜市ブースの開催

横浜市・都筑区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ2013に「横浜市ブース」を開催し、地域工業会に加え、横浜青年経営者会が団体として出展しました。

ア 出展企業 37社2団体

(3)記念講演会(本会主管併催事業)

ア 日 時: 平成25年2月6日(水) 13:30~15:30

イ 会 場: パシフィコ横浜2階 アネックスホール

ウ 講 師：明星大学経済学部教授 一橋大学名誉教授 関 満博氏
エ テーマ：「中小製造業の活性化」
～混沌とする時代を乗り切るために～
オ 参加者：181名

4 ものづくり人材育成支援事業

(1)新入社員合同研修

「帆船日本丸」における甲板みがき、漕艇、登檣、結索などの訓練を含めた研修により、忍耐力や協調性、連帯感などを新入社員に体験させることを通して、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。

ア 開 催 日 平成24年4月12日（木）～13日（金）（1泊2日）

イ 会 場 帆船日本丸、同訓練センター等

ウ 参 加 者 15社 50名（男性44名 女性6名）

エ 研修内容（テーマ及び指導者・講師）

①船上訓練、カッター訓練 日本丸船長、航海士、乗組員等

②講義（社会人としての意識を持つ、ビジネスマナー、）

③グループ討議（学生時代と社会人の違い）、（理想の社会人となるために）

株式会社スリーマインド教育センター 木下山多氏・鞠子みちる氏

④講義「海に学ぶ（シーマンシップ）」 日本丸船長 山本訓三氏

(2)就職に関する懇談会等の開催

神奈川県内の高校卒業生の地元中小企業への就業を促進するため、県内高校等関係者と企業との就職に関する懇談会を開催しました。

ア 日 時 平成24年6月15日（金） 14：00～18：00

イ 会 場 神奈川県民ホール 6階 大会議室

ウ 参 加 神奈川県立神奈川工業高校 等 26校31名

会員企業等26社28名、ハローワーク

(3)工場見学会の開催

学校関係者の中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者の育成を図るため、就職指導教員と学生を対象に、横浜市との連携のもとに市内企業の工場見学会を実施しました。

ア 実 施 日 平成25年2月22日（金）、

イ 見学企業 3社（日本軸受加工（株）、東洋測器（株）、（株）東京ダイス）

ウ 参 加 者 延べ18名

(4)横浜型若者就労支援事業

横浜市経済局雇用労働課が行った「横浜型若者就労支援事業」について、横浜市内中小製造業をよく知る本会として専門研修・企業実習で協力し、若年層の雇用に結びつけました。募集企業、求職者ともに双方の理解を深めた上で、採用に至ることで本事業は高い評価を得ました。

ア 求人企業数 21社

イ 採用決定 9社 9名

5 情報発信事業

(1)インターネットを活用した情報提供

ア ホームページの運営

緊急、重要な情報の提供に努めました。

イ メールマガジン「市工連ニュース」の発行

平成24年4月2日 第246号発行から

平成25年3月6日 第268号発行まで 22回発行

配信先 工業会会員等約700件

(2)機関誌の発行

ア 機関紙「よこはま市工連」の発行

年間2回発行 7月号2,300部、1月号2,500部発行

平成24年7月（66号）、25年1月（67号）

イ 広報誌「市工連かわらばん」の発行

年間6回発行 各回2,600部配布

平成24年5月（134号）から25年3月（139号）まで隔月発行

(3)情報システムの再構築

地域工業会・会員企業への情報伝達の合理化・迅速化、及び会員企業間の交流を図るよう、情報受伝達システムの再構築に着手しました。（システムの基本的内容の決定）

(4)重要情報の一斉ファックス送受信

上記システムへの移行期の対応として、一斉ファックスのシステムを活用して、備助金制度や、セミナーの案内などの情報について、各地域工業会会員にファックスで伝え、情報の受伝達の手法検討を進めました。

ア 送付件数 7件

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

新たな顧客の獲得を目指し経営基盤の安定・強化に努めました。

また、展示場機能の維持管理に努め、お客様の計画達成に向け、計画に係る他業者様との連携を図りました。

2 鳴浜・試作型貸スペース（T3）事業

入居者増のため運営収支が黒字になりましたが、引き続き金沢団地協同組合の協力を得て経費節減を図りますとともに、抜本的解決策等について引き続き横浜市と協議していきます。

III 会員の交流を深める事業（相互扶助事業）

賀詞交歓会など会員の交流を図るとともに、ボウリング大会の開催や、「横浜市工業厚生年金基金」、「災害共済」、「労災保険」、等工業会会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行いました。

また、製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、引き続き本会独自のP.L.保険の加入促進を図りました。

1 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援

南工業会設立30周年記念事業への助成、及び横浜青年経営者会の活動への支援を行いました。

2 第9回市工連ボウリング大会の開催

工業会会員並びに従業員相互の交流を深めるため、地域工業会から選出されたチームによる第9回市工連ボウリング大会を開催しました。

地域工業会からの協賛品がさらに増え、会長会並びに横浜市経済局ものづくり支援課の参加があり、交流が深まりました。

ア 日 時 平成24年11月9日(金) 19:00~

イ 会 場 新杉田ボウル

ウ 参 加 19チーム 57名

3 すぐれたアイディア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイディア」の提案により、企業の発展に貢献した従業員を市工連賀詞交歓会の席上で表彰しました。

ア 表彰日 平成25年1月10日(木)

イ 会 場 ホテルキャメロットジャパン

ウ 被表彰者 6社 7名

IV 法人運営

総会、理事会の開催など団体運営に努めるとともに、平成25年4月1日に一般社団法人へ移行するため、定款の改定、及び移行後の理事・監事の選任等の準備を行いました。

V 総会、理事会、委員会等

(1)総会

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
5月30日 (水)	第77回通常総会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度事業報告 ・同 収支決算報告 ・横浜産貿ホールマリネリア施設使用規程の改正について ・公益社団法人横浜市工業会連合会役員の報酬及び費用に関する規程の改正について ・平成24年度横浜市産業振興に関する要望書の回答について など 	産業貿易センター
6月29日 (金)	第78回通常総会	<ul style="list-style-type: none"> ・任期満了に伴う理事、監事の選任 	ホテルキャメロット ジャパン
10月5日 (金)	第79回臨時総会	<ul style="list-style-type: none"> ・公益認定の見通し ・市工連、地域工業会の将来的なあり方検討 ・長島専務理事の平成25年4月以降の継続 ・池田総務部長の平成25年4月以降継続勤務 ・平成23年度横浜市中小企業振興基本条例に基づく取組状況報告書 など 	産業貿易センター
1月10日 (木)	第80回通常総会	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人横浜市工業会連合会定款の改定 ・長島敏晴専務理事の退任 	ホテルキャメロット ジャパン
3月27日 (水)	第81回通常総会	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人移行後の役員 ・平成25年度事業計画 ・同 収支予算 ・みやぎ工業会・北杜市企業交流会との交流会など 	ホテルキャメロット ジャパン

(2)理事会、会長会議、各委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4月9日 (月)	工業会会長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第88回理事会・第76回総会の議案関連の確認 ・平成24年7月の任期満了による新役員候補者の検討 ・平成24年度横浜市経済局関連予算 ・公益認定申請に伴う就任理事について 	聘珍楼

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4月11日 (水)	広報産学委員会	・よこはま市工連第66号の発刊計画 ・第66号掲載内容について ・市工連の情報伝達方法についての検討	横浜産貿ホール 小展示室
4月23日 (月)	事業企画委員会	・電力量低減化に向けた事業の検討について	横浜産貿ホール 小展示室
4月25日 (水)	雇用環境委員会	・水質汚濁防止法の一部を改正する法律の施行について	横浜産貿ホール 小展示室
5月23日 (水)	総務委員会	・第89回理事会・第77回総会の議案について ・平成23年度事業報告 ・同 収支決算報告	横浜産貿ホール 小展示室
5月28日 (月)	政策委員会	・平成24年度横浜市に対する政策要望の実績について ・平成25年度横浜市に対する政策要望のすすめ方について	横浜産貿ホール 小展示室
5月30日 (水)	第89回理事会	・平成23年度事業報告 ・同 収支決算報告 ・横浜産貿ホールマリネリア施設使用規程の改正について ・公益社団法人横浜市工業会連合会役員の報酬及び費用に関する規程の改正について ・平成24年度横浜市産業振興に関する要望書の回答について など	産業貿易センター
6月5日 (火)	広報産学委員会	・よこはま市工連66号発刊に向けての確認 ・市工連の情報伝達方法についての検討	横浜産貿ホール 小展示室
6月26日 (火)	総務委員会	・任期満了に伴う役員の改選について	横浜産貿ホール 小展示室
6月21日 (火) ~ 9月16日 (金)	施策検討プロジェクト	横浜市課長職以下15人 地域工業会推薦15人 10人のグループに分け延べ15回開催 ①短期課題「エネルギー対策」 ②中期課題「中小企業にとってのBCP」 ③長期課題「中小企業の人才確保と育成」 など	(財) 横浜企業 経営支援財團

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6月29日 (金)	第90回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長、及び専務理事の選任 ・参与の承認 ・市工連委員会の正副委員長 ・青経会担当副会長 ・市工連の次代への継承と活性化に向けた「活性化委員会」(仮称)の設置についてなど 	ホテルキャメロット ジャパン
10月1日 (月)	雇用環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜型若者就労支援事業について ・電力料金の低減対策について 	横浜産貿ホール 小展示室
10月2日 (火)	正副会長会	<ul style="list-style-type: none"> ・第91回理事会・第79回総会の議案について 	天吉
10月2日 (火)	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・公益認定の審査状況について ・市工連の在り方の検討会(活性化委員会)設置について 	横浜産貿ホール 小展示室
10月4日 (水)	広報産学委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第67号の発刊計画について ・第67号掲載内容について ・市工連の情報伝達方法についての検討 	横浜産貿ホール 小展示室
10月5日 (金)	第91回臨時理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・公益認定の見通し ・市工連、地域工業会の将来的なあり方検討 ・長島専務理事の平成25年4月以降の継続 ・池田総務部長の平成25年4月以降継続勤務 ・平成23年度横浜市中小企業振興基本条例に基づく取組状況報告書など 	産業貿易センター
10月11日 (木)	政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度横浜市の予算に対する政策提案について 	波止場会館
10月15日 (月)	事業企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボウリング大会の検討 ・電力量低減化に向けた事業の検討について 	横浜産貿ホール 小展示室
11月28日 ～2月27日	活性化委員会	<p>構成員 地域工業会推薦 14人 横浜市職員 3人 開催回数 6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市工連の現状認識の元で市工連の原点に戻り、あり方を検討。 ・活性化に向けた具体的提案 <ul style="list-style-type: none"> ・地域工業会と市工連の相互協力 ・人材登用の場づくり 	
12月4日 (火)	広報産学委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第67号の版下検討、確認 	横浜産貿ホール 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
1月10日 (木)	第92回理事会	・公益社団法人横浜市工業会連合会定款の改定 ・長島敏晴専務理事の退任	ホテルキャメロット ジャパン
3月4日 (月)	工業会会长会議	・一般社団法人移行後の理事の選任について ・活性化委員会の報告	横浜産貿ホール 小展示室
3月12日 (火)	事業企画委員会	・みやぎ工業会と北斗市との交流について	横浜産貿ホール 小展示室
3月13日 (水)	総務委員会	・第93回理事会・第81回総会の議案について	横浜産貿ホール 小展示室
3月22日 (金)	雇用環境委員会	・横浜型若者就労支援事業について	横浜産貿ホール 小展示室
3月27日 (水)	第93回理事会	・一般社団法人移行後の役員 ・平成25年度事業計画 ・同 収支予算 ・みやぎ工業会・北杜市企業交流会との交流会など	ホテルキャメロット ジャパン

(3) 平成25年賀詞交歓会の開催

日 時 平成25年1月10日(木) 16:00~18:00
 会 場 ホテルキャメロットジャパン 4階フェアウインドウの間
 参加者数 140名

(4) 地域工業会事務局長会議

事務局長会議を次の通り開催し、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。

〈24年〉 4月18日、5月16日、6月20日、7月18日、9月19日、

10月17日、11月21日、12月21日

〈25年〉 2月20日、3月21日